



のびのび若っ子

「運動会」

教務主任 青木 一敏

私が小学生の時、校長先生が運動会の直前このような話をしてくれました。



「5円玉を付けた振り子を同じ位置から離したら、長いひもと短いひも、どちらが早く振れるでしょう？」

「答えは短いひもです。」

「だから、走るときは腕を曲げてまっすぐ振ると、より早く走ることができるんだね。」私は、この時、腕を曲げてまっすぐ振りなさいと言う大人の意味が理解できた気がしました。

来月、若葉台小学校は運動会が予定されています。昔から行われる運動会も新型コロナ感染症とともに大きく変わりました。午前開催や騎馬戦の縮小など、全国的に運動会の開催の行い方や内容の見直しが始まりました。ただ、運動会はなぜ今も実施されるのでしょうか。

小学校学習指導要領（平成29年告示）

【学校行事】2内容（3）健康安全・体育的行事抜粋

心身の健全な発達や健康の保持増進、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。

教職員は上記の内容に基づいて運動会の練習を指導しています。私は、今回この内容をプログラムと関連付けて考えてみました。

- ① 心身の健全な発達→「リレー・団体競技・徒競走」勝ち負けのある競技を通して、勝つためのポイントを子ども自身が見つけ合い、力いっぱい運動した時に育成できる力。
- ② 運動に親しむ態度→「演技」各学年の目標を達成するために、動いて、考えて、また動く。その過程を通して、自己の姿の変容は、教師から教えてもらったことではなく、自分や友達とのかかわりから解決方法を見つけ、目標を達成することができる自信。

私たち、若葉台小学校の教職員は、子どもの課題解決のための活動を計画し、自己肯定感を高め、学校生活に生きる力と活力を育成するため運動会の練習を計画しています。私は、いつも徒競走に胸が熱くなります。子どもたちが無事に成長し、腕を振って元気に最後まで走ることができている姿に…。保護者の皆様、お子様の運動会をどのような視点で見られますか？子ども、職員、保護者、それぞれの感情が動かされる…そこに、運動会が受け継がれている魅力があるのかもしれないね！

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切に作る心を育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』